

第27回衛星開発・実証小委員会 議事要旨

1. 日時

令和6年1月10日(水) 15:30~17:00

2. 場所

内閣府宇宙開発戦略推進事務局大会議室及びオンライン

3. 資料

資料1 宇宙技術戦略 測位に関する市場戦略・開発技術について

資料2 衛星地球観測コンソーシアム(CONSEO)による宇宙技術戦略へのインプットについて

参考資料1 宇宙技術戦略に関する考え方

参考資料2 宇宙技術戦略に関する考え方(概要)

4. 議事要旨

(1) 宇宙技術戦略の策定に向けた官民プラットフォームからのプレゼン

官民プラットフォームのASTECC(一般財団法人 衛星システム技術推進機構)、及びCONSEO(衛星地球観測コンソーシアム)よりプレゼンをいただいた。
委員からの意見は以下の通り。

- 測位衛星について、GPSだけでなく準天頂衛星があることによってダウンストリームの市場規模がどうなるのか、解像度を高めたデータの整理があったらいいのではないか。
- 準天頂衛星については、東南アジアや豪州で利用拡大を目指すべき。日本は災害対策が世界でも優れており、そうしたソリューションを磨くべきではないか。
- 令和6年能登半島地震発災後における光学/SARの衛星画像データの活用結果を時系列で整理して、今後の改善に向けた課題を明確にすべきではないか。
- 宇宙人材基盤への課題として、非宇宙分野の方々に対して、宇宙への興味を持ち、理解を深めてもらうためのアウトリーチ活動が重要ではないか。
- リモートセンシングについては、我が国は国土面積が狭いため、海外民需への市場拡大に向けた積極的な戦略が必要ではないか。
- 今後、技術的な議論を深めていくに当たって、ユーザも含め、技術のコミュニティを作るべきではないか。

以上